

自然感

くすのき

yumi



季節感

一面の鮮やかな黄色い絨毯が広がる…根生葉の形からウマノアシガタとの別名がある。

『キンポウゲ』

平成21年5月1日

太宰府市観世音寺沿い

大塚俊樹



熊洞居人独言

3 8

今年の春は晴天の日が多く、気温も高めに推移しています。5月に入っても五月晴れの日が続いており、ここ数日は春霞となって山々が霞んで見えています。本来の霞は大気中に水蒸気が多く含まれて発生するものですが、近年は大気中に自動車などの排気ガスに含まれる微粒子成分、硫黄酸化物、窒素酸化物などによる場合が殆どです。さらに、これらの成分は太陽光線に含まれる紫外線などと化学反応を起こし、生物にとっては有害物質である光化学オキシダントとなります。ここ数日は、車が多い福岡市や北九州市などの大都市を中心に、光化学スモッグ注意報が発令されています。さらに驚くべきことは、この注意報が壱岐、対馬や五島列島など、玄界灘や東シナ海北部の大気まで注意報に近い濃度に達していることです。その原因としては、汚染された大気が中国大陸から偏西風によって移動してくるためと考えられています。

若い頃のクマは福岡市周辺の山々を住み処にしていました。50～60年前頃の話です。この頃の宝満山は山麓から中腹に掛けては里山状態で、春の新緑、秋の紅葉を楽しんでいました。また、仏頂山の山頂付近から北西部の主尾根に掛けてはモミの大木が並んで生えていました。しかし、40年前頃には樹冠付近が枯れてしまい次第に立ち枯れ状態になってきました。その原因として考えられたのは、末期の糟屋炭田から発生していた、石炭燃焼による硫黄を含んだ排気ガスが西風に運ばれて山頂付近に掛かっていたためであるという理由です。実際に、酸性雨や酸性霧が頻繁に発生していました。この時代の日本は、高度経済成長期で産業活動が盛んで、石炭もエネルギー源として本格的に利用されていた時代です。その後、技術革新によりこれらの排気ガスから煙り成分を取り除くことが出来るようになりました。現在の中国を批判するのではなく、これ他の技術を中国へ伝えるのが最良の解決策だと考えられます。

◆◆◆ 自然観察会のお知らせ ◆◆◆

☆都会の真ん中で自然観察会☆

夕暮れ時、天神で、ほ乳類に合おう！

夜の散策は楽しさいっぱい、不思議いっぱい！！

◆2009年6月6日（土）夕暮れ時 18時から

◆参加費：100円

◆集合場所：福岡市中央区 天神中央公園／アクロス 公園入口付近

◆申込締め切り：2009年6月5日（金）

◆主催：食育推進ネットワーク福岡

申し込み先：092-522-8336

※案内は田村が担当します。

また、翌日6/7（日）11時から12時まで、14時から15時までの2回、天神中央公園にて自然観察会を行います。



写真提供 クラバード

◇◇◇2009年度定例総会◇◇◇

日 時 : 6月28日(日) 10時から15時まで
 場 所 : 県営春日公園(春日市)
 集合場所 : 春日公園にある5号駐車場そばの2階建て建物の入り口付近
 参加費 : 会場の光熱費など一人当たり200円 + ナイス福岡から2,000円
 日 程 : 10時から12時までは、都市公園とその周辺での自然観察の方法について、
 みんなで研修を予定
 昼食後、13時15分から14時半まで、定例総会
 その後、情報交換会

それで、この日の役割分担を考えました。

午前の部 司会進行係 ○○○○さんと□□□□さん/たとえば事務局長 小野仁さん

午後の部 飲み物の係 ○△□○さん 定例総会の議案作成

- ・2008年度の活動結果と2009年度の活動計画 ◇◇◇◇さん
- ・2008年度の会計報告と2009年度の予算 会計担当 宮原俊彦
- ・定例総会の挨拶とナイス福岡の役割について 冷川昌彦代表
- ・議事進行係・定例総会の議長・定例総会の書記/記録

会員の皆さん、みんなで手分けして対応しましょう。

ナイス福岡事務局 田村耕作

☆☆

◎2009年度九州環境教育についてのお知らせ◎

環境教育に関心をお持ちの方はどなたでも参加できますよ。(田字草)

～・～1回準備会のご案内～・～

新緑が気持ちよい季節になりました。皆さまお変わりございませんか。

久住大会お疲れ様でした。無事に終了し、現在報告書の作成中です。各分科会からの報告もそろい、お陰さまで第1回準備会には完成できそうです。

今年の大会は、長崎県の皆様のご協力で雲仙で開催する運びとなりました。大会終了後の懸案についても結論を出さなくてはなりません。新学期になり、ご多忙な時期とは存じますが万障お繰り合わせの上、ご出席下さいませようご案内致します。

1. 日 時 : 平成21年6月13日(土) 18:00～14日(日) 15:00
2. 場 所 : とりかぶと自然学校長崎県大村IC近く
3. 内 容 : 久住大会報告
平成20年度決算報告
2010九州環境教育ミーティング in 長崎・雲仙(仮称)の進め方などについて
実行委員会の今後の方向性について 他
4. 日 程 : 【13日(土)】 【14日(日)】

※夕食は各自済ませてから参加	8:00～9:00 朝食&前日積み残し事項の確認
17:00 事務局到着予定	9:00頃 とりかぶと発
18:00～20:00 打合せ	10:30頃 雲仙市 「休暇村」
20:00～22:00 懇親会	12:00頃 雲仙中心地～仁田峠(必要により)
	15:00頃 噴火関係中心地を下見(必要により) 後、島原で現地解散
5. 参加費 3,000円 懇親会+宿泊費(1泊・1食14日朝食のみ)
6. 参加申込み締め切り 6月8日(月)
申込先:事務局 葛西 Tel:090-8762-3344/Fax:097-536-6665
E-mail: nanagurasu@yahoo.co.jp
7. その他 18:00からの会議に遅刻する方のみおよその到着時刻をお知らせ下さい。
※当日の連絡先:葛西 090-8762-3344

日本野鳥の会福岡支部 主催

※参加費：100円（中学生以下無料）

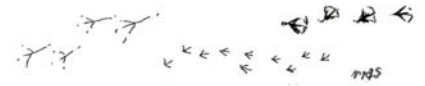
5/17（日） 6/21（日）
 天拝山探鳥会（筑紫野市）
 時間：9:00～12:00
 集合：天拝山歴史自然公園
 問合せ：092-920-7112（山本勝）

5/23（土） 6/27（土）
 久末ダム探鳥会（福岡町）
 時間：8:00～11:00
 集合：久末ダム多目的広場横駐車場（管理事務所下）
 問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

6/7（日）
 今津探鳥会（福岡市西区）
 時間：9:00～12:00
 集合：玄洋高校西側道路
 問合せ：092-891-9005（神園道男）

6/13（土）
 大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
 時間：9:00～12:00
 集合：ポート乗り場前
 092-573-1827（森健児）

6/14（日）
 和白海岸探鳥会（福岡市東区）
 時間：9:00～12:00
 集合：JR 和白駅前公園
 問合せ：092-606-0012（山本廣子）

**日本野鳥の会筑後支部 主催**

※参加費：100円（中学生以下無料）

5/24（日）
 濃施山公園（みやま町）
 時間：9:00～
 集合：公園内すいせん橋
 0944-58-1672（野田）

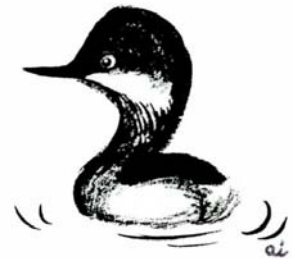
**福岡植物友の会 主催**

5/16（土）～17（日）
 霧島自然薬草の森、高千穂河原
 要予約
 092-947-6536（大吉博子）

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

6/6（土）
 津古三沢の森
 埋蔵文化財調査センター前集合
 時間：9:30～12時30頃
 問合せ：092-920-3072（松永）
 要：保険料

三国丘陵 ですぐにヒット
 します。

**和白干潟を守る会 主催**

5/23（土）
 守る会定例会議
 時間：10:30～12:30
 集合：和白干潟を守る会事務所
 問合せ：092-606-0012（山本廣子）



5/23（土）
 クリーン作戦 と自然観察会
 時間：15:00～17:00
 集合：海の広場 駐車場なし
 長靴・軍手があると便利
 問合せ：092-661-1594（田辺スミ子）

久留米の自然を守る会 主催

6/28（日）
 第370回例会
 きのこの自然観察ときのこ汁会
 講師 金子周平先生
 時間：9:00～14:30
 集合：上津小学校運動場横
 参加費：300円
 持ち物：筆記用具、長袖、長ズボン、長靴
 問合せ：0942-21-6676（笠）

福岡市油山自然観察の森 主催

※往復ハガキでの申込方法はハガキに「行事名・行事実施日・住所・氏名・年齢・電話番号」を記入の上、自然観察センターまでお送り下さい。

5/17（日）
 新緑の森・自然かんさつハイキング
 新緑の森を、花や野鳥の声などを楽しみながら散策します。

受付：9:30より
 時間：10:00～13:00
 対象：一般
 申込み：不要
 定員：なし

5/24（日）
 青葉の森でバードウォッチング
 夏鳥たちのさえずりを聞きながら、森のバードウォッチングを楽しみます。

受付：9:10より
 時間：10:00～13:00
 対象：一般
 申込み：不要
 定員：なし

問合せ：油山自然観察センター
 参加費：100円
 〒811-1355
 福岡市南区桧原夫婦石 855-1
 TEL：092-871-2112
 開館 9:00～16:30（月曜休館）



その1、遥かなる樹…大峰の大クヌギ

大塚 俊樹

もう14～5年も前のことになるだろうか…とても大きな『クヌギの樹』を見たことがあった。それは、山の中に独り堂々として聳え立っていた…と記憶する。

10数年の歳月のなか、時折うつすらと記憶の表面に浮かび上がることはあったが、ほとんど思い出すこともなく時が流れていた。今年4月ひょんな事から、この『クヌギの樹』のことが話題になり、もう一度見てみたい、会ってみたいと思うようになった。

連休最後の6日の朝、行こうと決め行動を開始した…がクヌギの樹や付近の情景は少しセピア色に浮かぶのだが、そこが何処なのか？どう行ったらよいのか？定かではない。分かっているのは英彦山山系の福岡県側であったこと。しかしそこへは犀川町方面からなのか、添田町方面からなのか、又は小石原村方面から入っていくのか全く不明である…

よしそれなら上から下ろうと英彦山を目指す。連休最後の日、高速道は混んでいるかと思ったが空いており日田市から山国町を経て野峠へ向かう、新緑が眩しい…

野峠でちょっと考えたが迷わず豊前犀川方面へ下っていった。微かに残っている大クヌギ付近の情景を探しながら…下る、下る、下るが見当たらない、暫く行くと整備された蛇ヶ淵キャンプ場にて、管理人らしき人に尋ねるとすぐに教えてくれたが、どうもおかしい壁の地図で確認すると築城町の大くすのことで大クヌギと間違えられたようで、油木ダムの方かも知れないと言う事になり、野峠まで戻る事になった。野峠から豊前坊への途中から油木ダム方向へ下る。セピア色のイメージを求めて脇道を探して踏み込み、違って戻る、を繰り返してダム沿いの道に出た。津野という集落に差掛かり誰かに尋ねようと人を探すが遠くの田で作業をされている人か子供しか見当たらず、そろそろ今日は諦めて、帰ろうかなど考えていたらパトカーが止っており駐在所があった。何か手掛かりが有るかも知れないと思い訪れると、駐在所は不在であったが、若い奥さんが対応に出てこれ親切にキビキビ、テキパキと添田署の当直さんを始め方々に問い合わせたが、良く分からない。(この駐在所に赴任されて数か月だそうで…)それでも津野小中学校の近くで聞いたら分かるかも知れないとヒントを頂いた。(大変お世話になりました)学校の近くまで戻ったが人がいない。東の方へ伸びている山道に入り進むが人がいない、イメージの所でもない。段々と絶望的になってくる。小さな峠を越えて集落に差掛かると農作業に出掛けられるご夫婦がおられ大クヌギを尋ねてみると知っておられ教えていただいた。

何やら〇〇峰とかいう集落の小さな橋を渡り…という事が分かった。有り難い！ダムの最上流部に出て、一度通ったダム右岸の道を「峰」と橋に気をつけながら下る。小中学校の前を、派出所の前を、郵便の前を通るが無い!? ダム堰堤まで来ても無い、右側に注意して下る。無いというより気付かない。随分と下ってきた赤村に入ったかも知れない。最早これまでか、今日はまだ探すの止めてこのまま帰ろう、別の機会にまた探そうと決めかけたが、何故かすっきりしない、何故だろう、どうしても会って帰りたい…と心が言うよしもう一度探そう！まだ日は高く写真も撮れる…と今来た道を引き返し始めた。どこからこの情熱が生まれたのだろうと今でも不思議に思う。ダム堰堤を過ぎ、少し上った所に町バスの停留所があり「大峰口」とある。ここは前に通ったときに止まり建物を確認した所であるが橋に気を取られ「峰」の字に気が付かなかったようである。

大クヌギに引寄せられるように進む、多分、大峰の集落だろうをぬけ、道なりに登って行くと小さな峠の手前でY字路があり、右(矢印)200m大峰の大クヌギの看板があり、先の峠に車を止め、とうとうたどり着いた。10数年振りの再会である…

荘厳なまでに堂々の姿で独り立っている。他の木々を圧倒し従えて神々しく西からの陽を浴びて屹立している。まるで人格のある山の主の様に歴史の風格を感じさせる幹肌と若葉のみずみずしさが力強さを感じさせる。『良く来たな一、元気だったか』とでも言われているような気がした。温かな懐に抱かれているような安らかな気持ちになる。大きなエネルギーをもらった気がする。写真を撮り、胸高周囲を計り周辺を歩く。集落の方々から大切に守られており、注連が巻かれ、石碑が根元に安置されている…

どうしても会いたいという気持ちと大きな見えない力と地元の方々のご好意により、10数年振りに大峰の大クヌギに再会することができ、すっきりした気持ちで帰途につきました。

後日、添田町教育委員会に電話でお尋ねしたところ、『樹齢約300年と伝えられており、樹高20m、胸高周囲340cmで平成3年8月添田町の天然記念物に指定されました。』ということでした。



2009年4月 私のデジカメ日誌より 本のむし



4月2日 筑紫野市天拝坂
庭にあるシロヤマブキが実生した。
九州に自生地は無いようだが、庭木として売
られていた。



4月12日 筑紫野市永岡池
ハシブトガラスが「とらばさみ」という罠にか
かっていた。警察に来てもらったが、頼り
にならない。結局、当事者が夜の間にこっそり
撤去したらしい。



4月15日 筑紫野市天拝坂狐谷池
カイツブリが今年も浮き巣を造り始めた。



4月20日 福岡市西区能古島
アキグミの花が真っ盛り。



4月22日 福岡市中央区南公園
この冬を楽しませてくれたシロハラ。北帰行
の途中。黄色い花はカンサイタンポポ。



4月25日
佐賀県三養基郡基山(404m)
山頂の草原でシロスジトモエを観る。巴紋が
みごと。サルトリイバラが食草。



4月29日 宮崎県五ヶ瀬町向坂山
キリタチヤマザクラ。発見されてまだ10年。

☆☆☆これは何だろ!?☆☆☆



これは何だか解かりますか？

【ヒント】

鳥などの天敵に、目玉と思わせる模様でしょうか？
巴模様に見えますね。

【前回(165号)の解答】

リョウブ科リョウブの樹皮でした。
白、橙、褐色などの薄片となって剥がれる様が
まるで迷彩服の模様のようなのです。
ナツツバキも良く似ています。



◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆◆
インターネット掲示板に会員の皆様の書き込みをお願いします。
ナイス福岡のアドレスはこのページの一番下に表示しています。

会費振込について

それぞれの会員の皆様の会員期限をタックシール部分に明記してあります。各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。なお、会計年度は6月から翌年5月末までです。

郵便振替口座：福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783
年会費：2000円

皆に知らせてみたいことはありませんか？

皆さんが行っている観察会やイベントの案内、自然保護に関する情報やご意見、お薦めの本の紹介などをお寄せ下さい。原稿は定例会の一週間前までに事務局にお送り頂くとその月の会報に載せることができます。皆さん情報をお待ちしています。

定例会に参加してみませんか？

本会の運営に関する打ち合わせや情報交換、会報の発送作業を原則として

毎月第2金曜の18:00~20:00ごろまで

自然案内舎(有)クラブにて行っています。

会員の方はどなたでも参加できるのでお気軽にお立ち寄り下さい。皆さんのおこしを心よりお待ちしております！

次回の定例会は、2009年6月12日(金)午後6時より事務局で行います。6月号の原稿は、6/1(月)までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

※お願い 会報をホームページで見る環境をお持ちの会員は手をあげて下さい。経費節減のためです。
宜しくお願いします。

他団体の会報の紹介

- ・日本野鳥の会筑後支部 会報まめわり 第97号 09.5.01
- ・福岡植物友の会 会報 第50巻 平成21年 5月号
- ・福岡県環境部自然環境課 自然希求 里山 魅力いっぱい身近な自然 平成21年3月



お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会
(NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)
代表：冷川昌彦/事務局長：小野 仁/
編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子・吉田素子/会計：宮原俊彦
〒814-0144 福岡市城南区梅林2丁目10番23号
ハイツ中村401
自然案内舎(有)クラブ内 TEL & FAX : 092-400-1765
URL : <http://www.kurabird.com/>
掲示板 URL : <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

編集後記 2009年4/10定例発送会は、大塚俊樹・藤川渡・鶴田義明・松下彩二・田村耕作が参加。山本勝・重松尚紀・冷川昌彦からは欠席の連絡。RYからみたらし団子の差し入れ有り。ちょこっとお手伝いに山口蘭が参加。夜須高原の朝はキビタキやオオルリの囀り、しかし、ガビチョウの囀りには勝てません。
田字草

